

取 扱 説 明 書

【フレキシブルメタルホース】

オートフレックス工業 株式会社

〒251-0053 神奈川県藤沢市本町3-9-2

TEL : 0466-28-2611

FAX : 0466-27-3935

フレキシブルメタルホースの取扱いについて

**本製品を安全にお使い頂く為に、
取扱いの注意をお守りください。**

- ※ チューブ部が捻じれるような取付けは絶対にしないでください。
(フレキは捻じれの応力の吸収ができず、破損の原因となります。)
- ※ 腐食性の流体（強酸性・強アルカリ等）では使用しないでください。
- ※ 極端に小さい曲げ半径で配管しないでください。
- ※ 固定ねじは固定側を先に接続してから、ルーズ側をねじ込んでください。
(例：【ニップル】 【ユニオン】)
(増し締めは必ずルーズ側から行ってください。)
- ※ フランジのボルト、ナットは片締めにならない様に、対角に締めてください。
(車のタイヤホイールを締める要領)
- ※ ウォーターハンマーの発生する配管では、フレキが破損する場合があります。
- ※ 高温流体の場合は、やけど等の事故防止対策を必ず行ってください。
- ※ フレキを引きずらないでください。
- ※ 長期保管をする場合は、適切な防錆処理を行ってください。
- ※ ご使用前にフレキの外観目視検査を実施してください。
(外面の錆や著しい劣化、外装ブレードの破損や部分的な切れ等。)
- ※ ご使用中に漏れ等の異常が発生した際は直ちにご使用を中止、取り換えをおこなってください。
- ※ フレキの取付けは、正しい取付け方をご参照ください。

フレキシブルメタルホースの正しい取付け方

誤			正		
過度な屈曲はチューブを傷めます。		×	屈曲部にエルボを使用して、チューブは真直に取付けてください。		○
無理なU字S字配管での使用はチューブの寿命を著しく縮めます。		×	小さな曲げ部分にはパイプを使用して、チューブは許容曲げ半径を維持してお使いください。		○
同上		×	同上		○
連続的に屈曲する箇所は、特に注意が必要です。		×	エルボの使用と、U字配管になるようにチューブの取付を行います。		○
同上		×	同上		○
連続的な水平運動のため、チューブがねじれるような屈曲荷重は大変危険です。		×	ホースの動きに同調する回転ローラーを取付けることにより、無理な屈曲は避けられます。		○
過度な屈曲は、チューブを破損します。		×	半円の滑車を取付けて、許容範囲を維持してください。		○
ロール巻にしたホースの一方を、引張って使用しないでください。		×	ロール巻のチューブの許容曲げ半径を維持して、引張り方向に対して無理のない形にロール巻を立ててください。		○
同上		×	同上		○
チューブの取付部分に回転運動を伝えると、チューブがねじれます。		×	回転ジョイントを取付けて、チューブをねじらないようにしてください。		○
チューブを取付の時に両端が運動方向と違った位置の場合は、ネジレを起こします。		×	チューブの取付は、運動方向に対して常に平行になるように取付けてください。		○